

事 務 連 絡

令和元年10月8日

各都道府県専修学校各種学校主管課
各都道府県教育委員会専修学校各種学校主管課
専修学校を置く国立大学法人担当課 御中
厚生労働省医政局医療経営支援課
厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課

文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部施設助成課

廃校活用マッチングイベント（大阪会場）の開催について

平素より文部科学行政に関し、御理解・御協力を賜り感謝申し上げます。

近年、少子化等に伴い児童生徒数が減少し、毎年500校近くの廃校が発生している中で、全国では、民間事業者による廃校活用により、地域活性化につながっている事例が多くみられます。

このことを踏まえ、文部科学省では、実際の廃校活用事例について、活用に至る経緯や工夫等を学ぶとともに、廃校施設を所有する自治体と廃校活用を希望する事業者とのマッチングを図る「廃校活用マッチングイベント」を開催しております。

令和元年8月13日付け事務連絡において、本イベントの開催について周知したところですが、この度、大阪会場での開催が11月18日に決定しましたので御案内します。

については、本イベントへの参加を積極的に御検討いただくとともに、都道府県専修学校各種学校主管課及び都道府県教育委員会専修学校各種学校主管課におかれては、所管又は所轄の専修学校各種学校に対して、管下に専修学校を置く各国立大学におかれては、管下の専修学校に対して、厚生労働省の専修学校主管課におかれては、所管の専修学校に対して、標記イベントについて御周知くださるようお願いいたします。

(参考) 文部科学省ホームページ

- ・～未来につなごう～「みんなの廃校プロジェクト」

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyosei/1296809.htm

- ・令和元年度 廃校活用マッチングイベント（大阪会場）

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyosei/1421809.htm

※東京会場（令和元年9月20日開催）の資料も掲載しています。

問合せ先

文部科学省 大臣官房 文教施設企画・防災部
施設助成課 振興地域係 山田、山下、要田

TEL 03-5253-4111（内線2001）

E-mail minpro@mext.go.jp

廃校活用マッチングイベントの開催について

※福岡会場の詳細については、11月下旬を目途にHPで公開予定です。

1. 日 時

大阪会場：令和元年11月18日（月）14:00～16:30（開場13:30）

福岡会場：令和2年2月を予定

2. 会 場

大阪会場：大阪赤十字会館301会議室（大阪府大阪市中央区大手前2-1-7）

福岡会場：福岡市内を予定

3. 参加対象者

地方自治体職員、民間事業者、国公立大学職員、学校法人、NPO法人 等

4. 日程詳細（予定）

13:30 開場

14:00～15:00 行政説明、事例発表①②

15:00～16:30 マッチングタイム（休憩含む）

16:30 閉会

※事例発表者については調整中

5. 参加登録方法（定員200名を想定）

以下のURLから参加登録ページにアクセスし、必要事項を入力してください。

<https://pf.mext.go.jp/admission/haikou-matching-osaka/input.html>

<受付期間>

令和元年11月5日（火）17:00まで

※先着順のため、期日前に締め切る可能性があります。

※福岡会場の参加登録は、11月下旬の開始を予定しています。

大阪赤十字会館アクセス

〒540-0008 大阪府大阪市中央区大手前2-1-7

- ・地下鉄谷町線「天満橋駅」を下車徒歩5分
- ・京阪電車「天満橋駅」を下車徒歩7分
- ・大阪シティバス「大阪城大手前」下車すぐ

<地図>



廃校活用マッチングイベント（大阪会場）

廃校を「使ってほしい」自治体と、廃校を「使いたい」事業者との出会いの場！

- 日時 令和元年11月18日(月)14時～16時30分
- 場所 大阪赤十字会館 301会議室（大阪府中央区大手前2-1-7）
- スケジュール（予定）

13:30 開場
14:00～15:00 行政説明、事例発表①②
15:00～16:30 マッチングタイム（約8自治体を想定）
16:30 閉会

- 参加受付 令和元年11月5日(火) 17時✕
※定員約200名を予定（先着順）

参加
無料

みんなの廃校

検索



≪東京会場(9/20開催)の資料も公開しています≫

事例発表

全国での廃校活用事例について、企業側と自治体側の双方から講演を行います。活用に至る経緯や工夫について、生の声を聞けるチャンスです。

＜東京会場実績＞

- ①宮城県加美町×音楽技能修得施設
(株)国立音楽院
- ②茨城県高萩市×ドローン操縦士養成教習所
(高萩ユーフールド)
- ③栃木県大田原市×障害者福祉施設
(ヒカリカフェ)



※2月中に福岡でも開催予定です。
※内容は変更する可能性があります。

マッチングタイム

廃校を「使ってほしい」自治体が出展し、参加者同士で自由に情報交換をする、マッチングの時間を設けます。

＜東京会場実績＞

北海道石狩市、北海道士幌町、岩手県一関市、岩手県岩手町、宮城県登米市、福島県石川町、茨城県つくば市、千葉県、千葉県長南町、東京都渋谷区、長野県中野市（全11自治体）



＜お問合せ先＞

文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部
施設助成課振興地域係
TEL:03-5253-4111（内線2001）
E-mail:minpro@mext.go.jp

廃校活用マッチングイベント（東京会場） 開催報告

日時：令和元年9月20日(金) 13:30～17:00

場所：三田共用会議所（東京都港区）

参加者：206名（事業者158名、自治体24名、ブース出展者24名）

◆行政説明、事例発表



行政説明「廃校施設等の有効活用について」（小谷 施設助成課長）

廃校調査の結果に基づき、全国の活用状況や課題を説明し、「みんなの廃校プロジェクト」の取組や国庫補助制度の紹介等を行った。



事例発表① 音楽技能習得施設として活用（宮城県加美町×(株)国立音楽院）

地域に根付く「音楽」を切り口に活用を検討し、町から事業者へ直接アプローチしたこと、校舎が製作に適した作りであったことなどが発表された。



事例発表② ドローン操縦士養成教習所として活用（茨城県高萩市×高萩1フィールド）

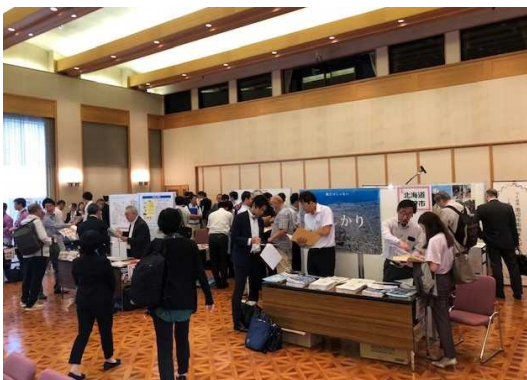
地域活性化につながる事業であることが決め手となったことや、教室・体育館・グラウンドといった広大な敷地が使用できる、廃校ならではのメリットが紹介された。



事例発表③ 障害者福祉施設として活用（栃木県大田原市×エルム福祉会）

公募型プロポーザル方式で事業者を募集した事例。年間3万人を超える利用者があり、事業者としても地域貢献したいという思いで取り組んでいることが語られた。

◆マッチングタイム



廃校を「使ってほしい」11自治体がブースを出展し、参加者同士で活発な情報交換が行われた。実際に具体的な話に結び付いたケースもあり、出展者からは手応えを感じる声が多数挙がった。

<参加自治体> 北海道石狩市、北海道士幌町、岩手県一関市、岩手県岩手町、宮城県登米市、福島県石川町、茨城県つくば市、千葉県、千葉県長南町、東京都渋谷区、長野県中野市